

組織の安全文化を把握する要件

大項目	中項目
組織統率（ガバナンス）	① 安全に関する理念・方針の明確化、評価の視点
	② 安全管理部門の明確化
	③ 安全管理部門・担当者の地位と権限拡大
	④ 職場の安全リーダ設置・育成、安全リーダシップの発揮
	⑤ 協力会社への委託（常駐・工事）などの適正化
	⑥ 安全に関する全社的な監査の実施
	⑦ 各職場における安全実績・安全活動のモニタリングと評価
	⑧ 法令要求の遵守
	⑨ 安全管理に関する仕組み・実施要領の明確化
積極関与（コミットメント）	① 経営者による理念・方針等の策定・見直し
	② 理念・方針等の周知徹底
	③ 安全目標の策定・見直し
	④ 安全目標に即した行動計画の策定
	⑤ 全員参加の安全活動
	⑥ 経営層による全員参加活動の奨励
資源管理（リソースマネジメント）	① 適正な人員配置
	② コスト削減時の安全面からの検討・確認
	③ 協力会社との実効的な関係構築
動機づけ（モチベーション）	① 職務満足感の向上・社内福祉・厚生施設の充実
	② 満足感向上のための調査
	③ 協力会社の職務満足向上
	④ 安全・技能・知識の人事評価への反映
学習伝承（ラーニング）	① 組織としての学習
	② 計画的な安全教育・訓練
	③ 技術伝承の制度的整備・実施
	④ リスク情報の活用／共有
危険認識（ Awareness ）	① リスクアセスメントの実施
	② 事故・トラブル事例の収集
	③ 緊急時対応計画の整備・緊急時対応に備えた教育訓練の実施
	④ 装置、環境、手順書などにおける人間工学的配慮
	⑤ ヒューマンファクターの理解促進
	⑥ 不適合管理体制の整備

相互理解（コミュニケーション）	① 情報公開、業界提携
	② 社員間交流、職場での交流
	③ 行政・官庁との信頼関係の向上・連携
	④ 社会・ステークホルダとの対話・情報公開
作業管理（ワークマネジメント）	（細目は業種等により異なる）

平成 20 年度経済産業省委託 平成 20 年度石油精製業保安対策事業報告書「ヒューマン・ファクターを考慮した事業者の保安力評価に関する調査研究」（平成 21 年 3 月）抜粋・要約